

基本政策 1 犯罪が起きないまちで生活ができる

【基本政策の方向性】

市民、地域、行政が高い防犯意識のもと、一体となって防犯活動を実施し、犯罪を未然に防ぐことで、犯罪の起きない安全な“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「市内犯罪率の減少」

市民一人ひとりが、日ごろから犯罪を防ぐための対策を行い、地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動に加え、街頭防犯カメラなどの防犯環境の整備を推進することで、市内における犯罪率の減少を図ります。

【数値目標】	現状値	目標値
市内犯罪率（人口千人あたりの刑法犯認知件数）	10.8 件/年 (H24~H28 平均値)	⇒ 8.7 件/年 (R7)

基本施策

1-1 防犯意識の醸成

市民一人ひとりが、情報の収集と適切な防犯対策を実施することにより、防犯意識を醸成させることを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
日頃から防犯を心掛け、対策をしている市民の割合 (WEB アンケート)	—	⇒ R2.9 上旬に設定予定

【主な取組】 広報・啓発活動の推進

市民の防犯意識を高揚し、犯罪を未然に防止する取組を広めるため、積極的な出前講座や啓発キャンペーンに加え、広報富士見、市ホームページを中心に、さまざまなメディアを通じて広報・啓発活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
情報発信回数	12 回/年 (R1)	⇒ 15 回/年 (R7)

1-2 地域防犯力の向上

地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動や行政による防犯環境の整備を推進するとともに、警察等と連携し、地域防犯力の向上を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
市内街頭犯罪発生件数	598 件/年 (H24~H28 平均値)	⇒ 479 件/年 (R7)

【主な取組】 自主防犯活動の推進

自主防犯活動を実施する団体に対して防犯パトロール用品の配布やボランティア保険の加入などの支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりを行うなど、自主防犯活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
自主防犯組織の結成率	100% (R1)	⇒ 維持 (R7)

関連する SDGs ゴール



地域の防犯力を高め、安心して生活できる環境づくりに取り組みます。

関連ターゲット (16-1)



自主防犯組織や防犯パトロールなど地域の力を活用しながら、防犯体制の強化を行い、市民一丸となって犯罪の抑制に取り組みます。 関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画 (平成 29 年度～令和 8 年度)

関連部署

総務部 安心安全課